

環境審査顧問会自然環境分科会
議事録

1. 日時：平成18年4月28日（金） 16：15～16：40

2. 場所：経済産業省別館11階第1120共用会議室

3. 出席者：

（顧問）

阿部主査、渡辺副主査、川路顧問、河野顧問、森川顧問

（経済産業省）

高取統括環境保全審査官、金子環境審査班長 他

4. 議題：(1)環境影響評価準備書の審査について
・中国電力(株)水島発電所1号機改造計画

5. 議事概要：

(1)開会の辞

(2)配布資料の確認

(3)中国電力(株)水島発電所1号機改造計画環境影響評価準備書に係る審査に当たり、事務局から質問事項への回答、補足説明資料、審査書(案)に基づき説明がなされた。

<質問事項への回答及び補足説明資料について>

質問及び意見なし。

<審査書(案)について>

【顧問】工事用車両の数を減らすためにお互いに相乗りをすることが記述されているが、本当にそのとおり行うのか確認するすべがない。実行に際し、環境に配慮することを願うしかない。

【経済省】工事計画の段階で環境影響評価どおりに行われているかの確認があり、実際は使用前安全管理審査の段階でチェックしていくことになる。車両の台数は監視計画で事業者が行うこととなるが、細かい部分までは確認ができない。

【顧問】「工事関係車両の台数と発電所出入り車両と同数」とあるが、ダンプと乗用車では車の質が違うので、単に台数で比較できるのか。

【顧問】この発電所は(ISO)14001を取得していると思われ、14001を取得しているとそれに則った環境管理計画で行動せざるをえなくなる。中国電力にはCSR活動があり、我々が確認を行わなくともCSR活動で規定されてくると推察される。評価書で書かれるということは、それが担保されるということになると推察される。

(4)閉会の辞

以上